

〈学術研究集会傍聴記〉

第72回日本体力医学会大会 傍聴記

金 芝美*

Jimmy Kim*

2017年9月16日から18日まで、愛媛県で開催された日本体力医学会(JPFMS)に参加した。今回で72回目になる日本体力医学会は昭和24年に開催され、開催当初は体力、疲労、労働衛生および栄養研究が学会の中核をなしていた。現在はそれらに加えスポーツ医学の研究が盛んである。

参加者の多数は日本人であるが、アジア人、アメリカ人などの外国人も参加している。

発表形式は口頭発表(7分間の発表, 2分間の質疑応答), ポスター発表(30分)の2種類に分類されている。

今回、私は筆頭著者としてポスター発表で「激しい運動時の島皮質と扁桃体の拮抗的な循環調節」、共同研究者として口頭発表で「繰り返しレバー運動課題における予測的な循環応答と運動パフォーマンスの関係」という2演題を発表した。

私の筆頭著者のポスター発表の内容は運動時の循環調節における大脳辺縁系の役割を明らかにするこ

とを目的として、今までの研究結果および今後の研究進行方向について発表した。ポスター発表の利点は質問者との距離感が近いので目をみながら説明することができることである。今回の発表で私の研究内容を質問者に納得させ、いいアドバイスを受けることができた。

しかし、私は母国語でない日本語による発表のためコミュニケーションにおいて不安があり、私の研究について質問者が納得や共感をしてもらえるか心配であった。しかし、質問者の配慮でゆっくり研究内容を説明することができた。今回の発表で言語の重要性をもう一度強く感じることができた。

3日間の学会への参加を通じて私の研究に参考になる多くの情報を得ることができ、今後の研究進行をもう一度考える機会となった。ひいては私の研究に関連する学会への参加および発表をして日本と韓国の生理学分野における研究発展に寄与したいと思った。

* 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科
Graduate School of Health and Sport Science, Juntendo University